

遠賀町内中小企業景況調査

(令和6年4月-6月期)

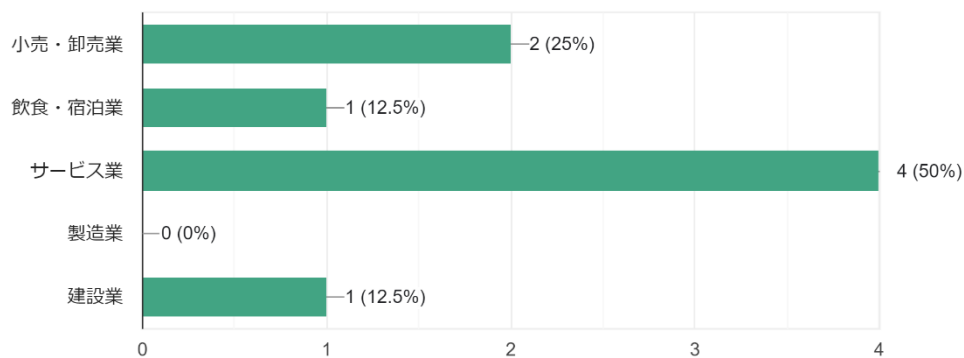
調査：遠賀町商工会

〔調査要領〕

- ①調査方法 遠賀町商工会 LINE 公式アカウントによる WEB 回答
- ②調査対象 遠賀町商工会会員事業所
- ③調査時点 令和6年7月1日

1. 貴事業所の業種を教えてください

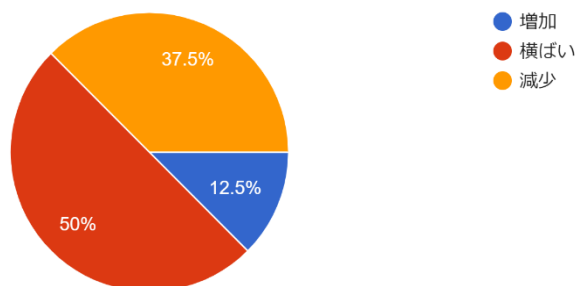
8件の回答



今回のアンケートの回答は、約9割が商業・サービス業で占められており、残り1割が建設業という業種構成になっている。

2. 現在の貴事業所の売上傾向についてお尋ねします。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか

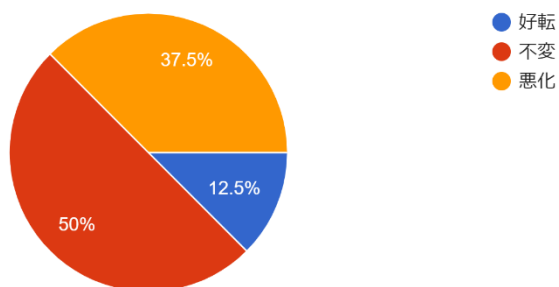
8件の回答



売上傾向については、第1四半期と比べて減少が大幅に増えており、悪化の一途を辿っていることが見て取れる。これは、円安や物価高騰といった経済のマイナス面での影響が一向に改善されないことの表れであり、現状では劇的な改善は望めないことから深刻な状況と言える。

3. 現在の貴事業所の利益状況（所得）について...す。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか

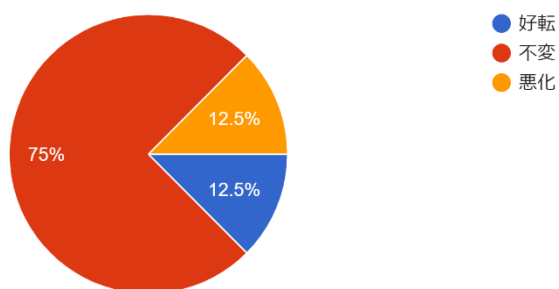
8件の回答



利益の状況についても売上の現状と同様の要因により、第1四半期に比べ悪化の傾向が見て取れる。もちろん企業努力は必要であるが、一刻も早い経済環境の改善が望まれるところである。

4. 現在の貴事業所の資金繰りの状況についてお...す。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか

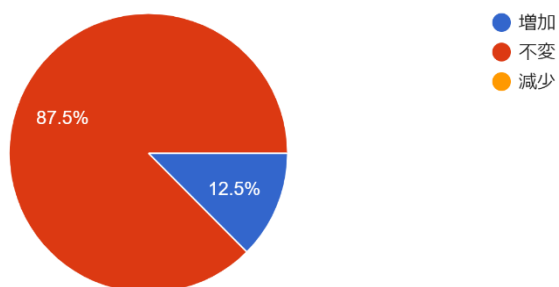
8件の回答



資金繰りについては、金融庁が本年6月に「コロナ資金繰り支援策の転換を踏まえた事業者支援の徹底等について」という要望を金融機関向けに発出していることから、今後、国の意向に沿った支援が進められることを期待したい。

5. 現在の従業員数についてお尋ねします。前年の同時期と比較して今はどうでしょうか

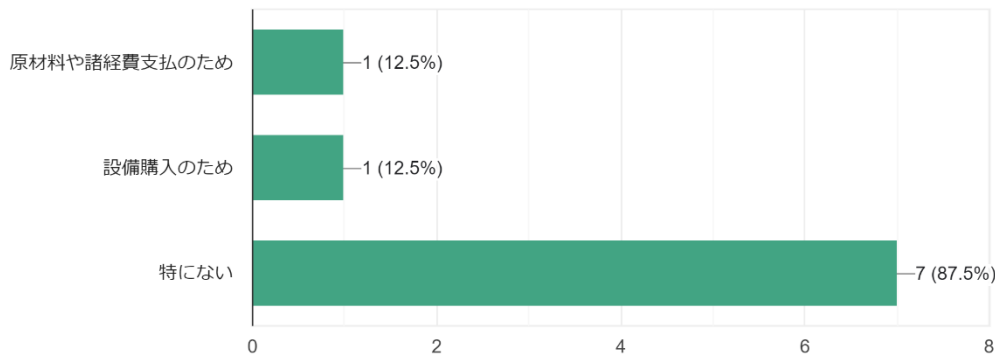
8件の回答



従業員数は、約9割の企業が不変と回答しており、構造的な人手不足が解消されていないにも関わらず、ほとんどの企業が従業員を増やせる状況にないことが見て取れる。中小・小規模企業としても可能な限り労働生産性の向上を図るための一層の自助努力が求められるところである。

5. 現在、資金調達をする必要はありますか（複数回答可）

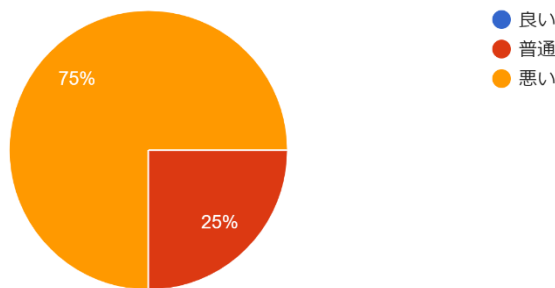
8件の回答



新たな資金調達については、第1四半期同様に無駄な経費の削減はもちろんのこと、原材料や設備の購入についてもできるかぎり資金調達をしない範囲で賄おうとする姿勢が窺える。ただ、長い目で見ると、特に設備購入については、事業の成長発展にとって重要な投資であることから、先行き不安を払拭して積極的に設備投資資金の調達ができるような支援策が求められるところである。

6. 景況感について教えてください現在の景気をどう感じますか

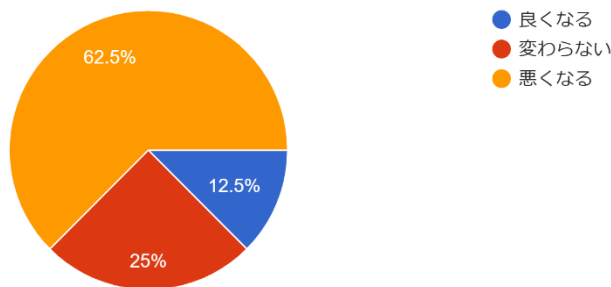
8件の回答



景況感については、第1四半期に比べて更に悪化していると感じている企業が増えている。国や県の支援策への期待ももちろんあるが、自助努力として、社員のリスクリングやDX化の推進への取組みも喫緊の課題となっている。

7. 景況感について教えてください今後の景気の見通しをどう予測しますか

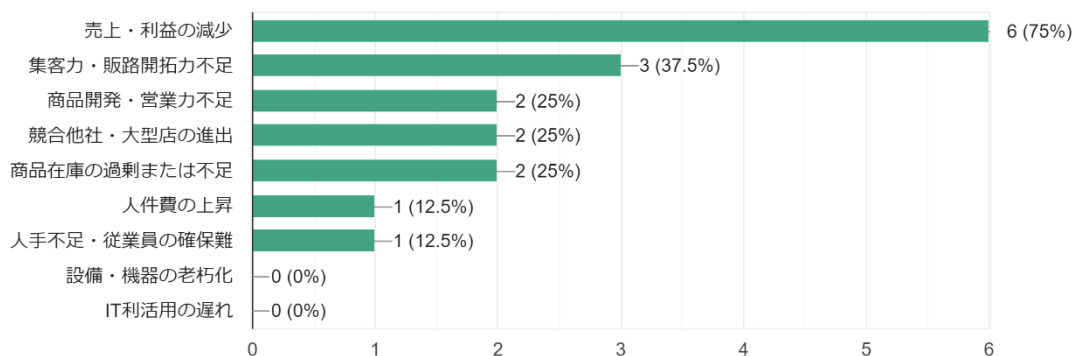
8件の回答



景況感の今後の見通しは、更に悪くなると回答した企業が6割を超えている。やはり、税制の優遇措置などの景気刺激策が期待されるところである。

8. 現在の貴事業所において、次の問題点・課題の中に該当するものがありますか（複数回答可）

8件の回答



課題として、やはり「売上・利益の減少」を挙げている企業が圧倒的に多い。解決策としては、実質賃金の上昇による家計の可処分所得の増加が消費を押し上げるというサイクルを生み出せるかがカギとなることから、中小企業向け賃上げ促進税制の活用なども検討する余地があると思われる。